

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 25 日

作成者：(特非)九州バイオマスフォーラム

	【施設名称】 みやざきバイオマスリサイクル発電所
	【事業主体】 みやざきバイオマスリサイクル株式会社
	【所在地】 宮崎県川南町
	【運転開始年】 平成 17 年 5 月
原材料	鶏糞
生産物（種類）	発電（焼却施設）
利用方法	場内動力・余剰売電
導入目的・経緯	宮崎県は、ブロイラー飼養羽数全国 2 位の主要県である。これらの家畜排せつ物の適正処理及び有効活用を図るため鶏糞を大量に焼却してその際に発生する熱を電気として回収するとともに、焼却灰を肥料原料として有効利用を目指す、地球に優しい発電システムを構築する。
設備仕様	蒸気タービン発電機出力：11,350kW
稼働状況	鶏ふん焼却量：132,000 t / 年
経済性関連データ	
導入効果	「循環型エコシステムの確立」 ・鶏糞の大量焼却による減量化と焼却灰肥料による資源循環 ・地域環境負荷の低減 ・農家個別の設備投資軽減による畜産業の安定的成長 ・鶏糞の焼却熱による発電で石油・石炭などの発電用燃料の焼き減らしができて化石燃料の温存と地球温暖化防止への貢献
運営上の課題	
備考	平成 17 年度バイオマス利活用優良表彰「農林水産省農村振興局長賞」 平成 18 年度新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」